

令和元年度教育委員会事務局運営の総括表

基本方針・重点方針	令和元年度重点取組					
	取組名	目標	計画・実施等	実績	備考	所属等
開かれた学校づくりと市民との共汗で進める教育改革	1	新しい学習指導要領の中核の理念である「社会に開かれた教育課程」の下、保護者・地域が学校運営に参画する「学校運営協議会」の設置拡大	・学校運営協議会の更なる活動充実と先進的な取組事例の発信 ・中学校への設置に加え、中学校区における小中合同での設置拡大	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・248校（幼15園、小156校、中61校、小中7校、高1校、総8校）に学校運営協議会を設置（市区町村別設置数に国トップレベル） ・45中学校区に、小中合同による学校運営協議会を設置 ・研修会やコミュニティ・スクール通信の全校園への配布等により先進事例を紹介	生涯学習部
	2	子どもたちの教育環境の充実をめざした地域住民・保護者との共汗で進める学校統合及び新しい学校づくり	・京北地域小中一貫教育校「京都京北小中学校」開校に向けた新校舎整備や教育内容の検討等の取組推進 ・下京雅小学校新校舎及び橘橋幼稚園新園舎整備に向けた取組推進 ・小規模校の保護者・地域への的確な情報提供と協議・検討の促進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・令和2年4月に京北地域小中一貫教育校「京都京北小中学校」開校 ・下京雅小学校新校舎及び橘橋幼稚園新園舎整備完了、令和2年4月移転 ・西成中学校区小中一貫教育校の創設に向けた要望書提出を受けて、「西成中学校区小中一貫教育校創設協議会」（計2回）開催等による取組を推進 ・小室中中学校区小中一貫教育校の創設に向けた要望書提出 ・双ヶ丘中学校・高雄中学校の統合要望書提出 ・小規模校の保護者・地域への的確な情報提供と協議・検討の促進	教育環境整備室 学校統合推進室
確かな学力の育成	3	家庭環境に関わらず全ての子どもたちの可能性を最大限引き出す確かな学力と学習習慣の定着	・小・中学校全校での「土曜学習」の実施 ・未来スタディ・サポート教室を中学校・小中学校全校で実施 ・義務教育9年間の確かな学びを支える「京都市小中一貫学習支援プログラム」の推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・小・中学校全校での「土曜学習」の実施 ・未来スタディ・サポート教室を中学校・小中学校全校で実施 ・義務教育9年間の確かな学びを支える「京都市小中一貫学習支援プログラム」の推進	学校指導課
	4	小中一貫教育ガイドライン（試案）に基づく校区の状況に応じた全中学校区での小中一貫教育の推進、就学前施設と小学校との円滑な接続の促進	・全中学校ブロックでの、「目指す子ども像」の共有・実現のための小中一貫教育構想図の作成や軸となる取組・活動の設定など、校区の状況による小中一貫教育の推進 ・子ども若者はくみ局との連携により、就学前施設と小学校との更なる連携・交流を深める仕組み作りや研修等の取組を推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・全中学校ブロックでの、「目指す子ども像」の共有・実現のための小中一貫教育構想図の作成や軸となる取組・活動の設定など、校区の状況による小中一貫教育の推進 ・子ども若者はくみ局と連携し、「京都市子どもはくみ局記録」（京都市版標準様式）や「京都市保幼小連携・接続パンフレット」を作成	学校指導課
	5	学校・幼稚園における働き方改革推進、研修と教職員評価による教員の資質・指導力向上	・勤務時間の上限規制設定も含めた働き方改革に関する方針の策定 ・働き方改革推進校・園の指定や、負担軽減に向けた校務支援員・部活動指導員等の人的配置の拡大・活用 ・部活動ガイドラインに基づく安全でより充実した部活動の推進 ・バーコード方式による出勤管理システムの全校園への導入・運用（本格実施） ・自宅等で校務支援システムを利用できる機能（リモートアクセス）の利用促進 ・「京都市教員等の資質の向上に関する指標」を踏まえた研修計画策定・研修実施 ・ミドルリーダー層の拡大・養成に向けた研修実施 ・OJT活性化、自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」等のコンテンツ充実 ・英語教育や道徳教育等の喫緊な教育課題に関する研修の充実 ・育児休業中教職員の円滑な職場復帰に向けた支援の充実 ・給与に反映する教職員評価「査定評価」制度の実施と教職員の意欲喚起	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・園の指針に基づき、教職員の勤務時間（在校等時間）の上限を原則月45時間、年360時間とする教育委員会規則の改正 ・超過勤務の縮減に向けた具体的な取組等について記載した「学校・幼稚園における働き方改革」方針を策定 ・市をリードして働き方改革に取り組む推進校・園を公募方式により、全校種で合計81校園（小51校、中18校、高5校、支2校、幼5園）を指定し、推進校・園には希望を勘案して職員を配置。（校務支援員、教務主任補佐） ・校務支援員を75校園に98人を配置 ・部活動指導員を中学校・高等学校59校に99人を配置 ・部活動ガイドラインに基づき各校において充実した部活動の実施 ・全校園でバーコード方式による教職員出勤管理システムの運用 ・自宅等で校務支援システムを利用できる機能（リモートアクセス）の利用促進（令和元年度末登録者数113名） ・この校種で、電話対応終了時刻・閉校時刻を設定 ・学校閉鎖日（年次休暇取得日）の設定による連続休暇の取得促進 ・「京都市教員等の資質の向上に関する指標」を踏まえた研修計画策定・研修実施 ・ミドルリーダー層の拡大・養成に向けた研修実施 ・OJT活性化、自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」等のコンテンツ充実 ・英語教育や道徳教育等の喫緊な教育課題に関する研修の充実 ・育児休業中教職員の円滑な職場復帰に向けた支援の充実 ・給与に反映する教職員評価「査定評価」の実施	教職員人事課 学校指導課 総合教育センター
	6	新学習指導要領実施に向けた実践研究・環境整備	・「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、新学習指導要領を全小中学校で先行実施 ・「主体的・対話的で深い学び」を旨とする授業改善に向けた実践研究及び「カリキュラム・マネジメント」の確立に向けた実践研究の推進 ・新学習指導要領に対応した小学校教科書の採択及び採択教科書に基づいた「京都市スタンダード（教育課程指導計画）」の改訂（全教科等） ・新学習指導要領において、特に重視される新たな教育課題（プログラミング教育、消費者教育、京都ならではの伝統文化教育）に係る事例集（指導計画）等の作成 ・英語教育の充実に向けたA.L.T（外国語指導助手）の増員、小学校低学年用教材の全小学校への配布、小・中学校の研究拠点校による授業改善研究の推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・本市独自に小・中学校全校で新学習指導要領を先行実施 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現による授業改善や「カリキュラム・マネジメント」の確立に向け、文部科学省や本市独自の研究指針で実施を推進 ・新学習指導要領に対応した小学校教科書の採択及び採択教科書に基づいた「京都市スタンダード（教育課程指導計画）」の改訂（全教科等） ・新学習指導要領において、特に重視される新たな教育課題（プログラミング教育、消費者教育、京都ならではの伝統文化教育）に係る事例集（指導計画）等の作成 ・英語教育の充実に向けたA.L.T（外国語指導助手）の5名増員、小学校低学年用教材の全小学校への配布、小・中学校の研究拠点校による授業改善研究の推進	教職員人事課 学校指導課
	7	文化庁の京都への全面的な移転を控え、京都ならではのグローバルコミュニケーション力育成と文化芸術活動の推進	・3カ年計画での全小・中学校での茶道・華道体験の実施に向けた、初年度48校でのモデル実施・環境整備 ・高等学校の全生徒が、在学中に2回、茶道を中心とした、能楽、和装などの伝統文化に触れる機会の充実 ・小学校全校で外国語の授業時数（3・4年生：年35時間、5・6年生：年70時間）を、新学習指導要領1年前倒しで実施（1・2年生でも本市独自に英語活動を実施） ・外部検定試験（英検・GTEC等）の活用による中・高校生英語力向上の取組 ・海外研修・留学への支援や日ヶ丘高校「英語村」を活用した小中学校や地域との連携の促進 ・京都商工会議所や事業者との連携を図り、市内在任・在学中高生の京都・観光文化検定の受験を促進 ・博物館施設等での体験の充実や平安京創生館の授業等での活用推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・全小・中学校での茶道・華道体験の実施に向け、モデル校48校（小学校（茶道）：32校、中学校（華道）：16校）での環境整備・体験活動の実施 ・小学校全校で外国語の授業時数（3・4年生：年35時間、5・6年生：年70時間）を、新学習指導要領1年前倒しで実施（1・2年生でも本市独自に英語活動を実施） ・受験料を補助し、中学生4,496名、高校生858名が英検を受験 ・受験料を補助し、市立高校（全日制）全2年生がGTECを受験 ・タイ・韓国企業との協力による特別展「タネはふしぎな命のカプセル」の開催 ・高等学校において海外研修・留学への支援を実施 ・日ヶ丘高校「英語村」において、小学校6年生（76名）が夏季休業期間を活用し、A.L.Tや高校生とともに英語体験活動を行う「Enjoy English」事業を実施 ・京都・観光文化検定3級において675名の中高生が無償で受験し105名が合格 ・小学校5校で「平安京創生館」を活用した授業を実施	学校指導課 生涯学習部 生涯学習センター
8	環境教育・理科教育の推進と開創50周年を迎える青少年科学センターでの企業・大学等と連携した取組の充実	・KES学校版「環境にやさしい学校」小・中・総合支援学校（小・中・中）全校認定 ・SDGs（持続可能な開発目標）の視点も盛り込んだ、全校・園独自の「新・環境宣言」による「持続可能な社会」の実現に向けた取組の推進 ・こどもエコライフチャレンジ推進事業の小学校全校での実施 ・小学校教科書採択を踏まえた環境教育スタンダードの改訂 ・京エコロジセンター及び南部グリーンセンター第二工場に併設予定の環境学習施設との相互連携 ・フナタリウムのリニューアル ・「みらい地球儀」を活用した本市独自の環境学習の実施 ・企業等の協力による特別展の実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・KES学校版「環境にやさしい学校」小・中・総合支援学校（小・中・中）全校認定 ・「持続可能な社会」の実現に向け、SDGs（持続可能な開発目標）の視点も盛り込んだ、全校・園独自の「新・環境宣言」の策定 ・こどもエコライフチャレンジ推進事業の小学校全校での実施 ・小学校教科書採択を踏まえた環境教育スタンダードの改訂 ・京エコロジセンター及びさつて京都（南部グリーンセンター第二工場環境学習施設）との相互連携 ・タイ・韓国企業との協力による特別展「タネはふしぎな命のカプセル」の開催 ・令和2年2月に科博連サイエンスフェスティバル（会場：青少年科学センター及び京エコロジセンター）において、さつて京都が企画した学習ブースを出展 ・みらい地球儀を活用した環境学習を実施（小4年：56校 3,394人、小5年：46校 2,398人）	学校指導課 青少年科学センター	

基本方針・重点方針	令和元年度重点取組						
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等	
9	子どもの読書活動の推進に向けた、家庭における読書習慣の促進、学校司書の配置拡大や学校図書館の活用促進など「第4次京都市子ども読書活動推進計画」の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書の配置時数の拡大（複数日配置校数の拡充） ・京都市図書館による中・高校生の読書活動支援の推進 ・京都市図書館司書等を対象に研修を行い、子どもの読書活動の担い手となる「子どもの本コンシェルジュ」を養成 ・子どもが本を読むきっかけや選書の手掛かりとなる年代別のブックリスト「本のもり（幼児編）」を京都市内の3歳児の保護者全員に配布 	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書の全小・中・総合支援学校への複数日配置が完了 ・指定図書館（下京図書館）と市立高校（堀川高校）との精密な連携による高校生のニーズに合った読書アンケートや学校団体貸出等の取組の推進 ・「子どもの本コンシェルジュ」養成講座を開催（令和元年11月～） ・子どもが本を読むきっかけや選書の手掛かりとなる年代別のブックリスト「本のもり（幼児編）」を京都市内の3歳児の保護者全員に配布 		学校指導課 生涯学習部 各図書館	
	10	社会的・職業的自立に向けた生き方探究教育の充実、学校での学びを地域・社会の課題解決につなげ社会参画の力や政治的教養を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生き方探究館の各種体験学習の小中学校全校実施に向けた実施校の拡大及び各種体験学習を通じた生き方探究教育の推進 ・選挙権年齢及び成年年齢の引下げを踏まえた「政治的教養を育む教育学習指導案集」・「消費者教育事例集」（仮）や国の副読本の活用による発達段階に応じた体系的・計画的な授業等の実施 ・地域や社会での貢献活動やボランティア活動の実施 ・学校の市会議場見学や「京都市会親子ふれあい議場見学会（市会事務局が実施）」等、市会事務局との連携による市会を身近に感じる取組の充実 	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・スチューデントシティ学習（149校9,480名）、ファイナンスパーク学習（71校7,235名（総合支援学校6校を含む）、京都モノづくりの殿堂・工房学習（164校9,237名（総合支援学校5校を含む））、生き方探究・チャレンジ体験推進事業（77校9,237名（総合支援学校5校を含む）） ・選挙権年齢及び成年年齢の引下げを踏まえた「政治的教養を育む教育学習指導案集」や国の副読本の活用による発達段階に応じた体系的・計画的な授業等の実施 ・地域や社会での貢献活動やボランティア活動の実施 ・学校の市会議場見学（小学校：13校、中学校：9校）や「京都市会親子ふれあい議場見学会（市会事務局が実施）」等、市会事務局との連携による市会を身近に感じる取組の充実 		学校指導課 京都まなびの街生き方探究館
	11	世界文化自由都市宣言の理念も踏まえ、多文化が息づくまちづくりに向けた国際理解教育と、外国人児童生徒等への日本語指導体制等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生社会の実現に資する研修会の実施 ・韓国・外国人児童生徒等の受入体制の充実と體の状況に応じた日本語指導の拡充 ・日本語指導担当教員等の指導力向上を図る研修会の充実 	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業期間中に多文化共生社会の実現に資する研修会を実施 ・日本語指導トータルサポートシステムの運用を進め、韓国・外国人児童生徒等に対する迅速かつ的確な受入体制の構築及びきめ細かな日本語指導の推進 ・日本語指導担当教員等に対して、「日本語指導担当教員指導力向上セミナー」を年間7回実施するなど、指導力向上に係る取組を実施 		学校指導課
12	道徳の教科化を踏まえた道徳教育の充実や体験活動の推進等、子どもの規範意識を育む取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・6月・10月の「道徳教育推進月間」における全小・中学校全校級での公開授業（保護者参画型） ・小・中学校28校の研究指定校を中心とした教科化を踏まえた実践研究の実施等、全市をあげた研究・実践の推進 ・パンフレット「考え、議論する道徳を目指して」及び「特別の教科 道徳 評価について」、「京都ゆかりの教材・指導案集」等を活用した、授業改善や評価に関する実践、教員研修の充実 ・道徳科を中心に、教科横断的な視点による、児童生徒の道徳的価値の理解を深める学習の推進 ・中学校の生徒会活動、小学校児童会活動の活性化 ・長期宿泊・自然体験推進事業の全小中学校での実施 ・非行防止教室の全小・中・高等学校での実施 	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・6月・10月の「道徳教育推進月間」における全小・中学校全校級での公開授業（保護者参画型） ・小・中学校28校の研究指定校を中心とした教科化を踏まえた実践研究の実施等、全市をあげた研究・実践の推進 ・パンフレット「考え、議論する道徳を目指して」及び「特別の教科 道徳 評価について」、「京都ゆかりの教材・指導案集」等を活用した、授業改善や評価に関する実践、教員研修の充実 ・道徳科を中心に、教科横断的な視点による、児童生徒の道徳的価値の理解を深める学習の推進 ・25小中学校、全市中学校の代表が集い、京都市子ども未来会議を開催（8月20日）。会議で決議された提言をポスター、クリアファイルにし、全小・中・義務教育学校へ発信 ・3泊4日以上の宿泊体験事業として、長期宿泊・自然体験推進事業を全市157校で実施。 ・非行防止教室の全小・中・高等学校での実施 		学校指導課 生徒指導課 花背山の家	
	13	いじめ、不登校の未然防止と早期発見・解決に向けた取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校いじめの防止等基本方針に基づく取組 ・京都市いじめの防止等取組指針や登校支援ハンドブックを踏まえた取組の推進 ・SNSを活用した相談窓口のあり方に関する継続的な検討 ・全校配置のスクールカウンセラーの週1日8時間以上配置校を拡充 ・スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置による教育相談体制の充実 ・教員が学級実施をより適切に把握するためのクラスマネジメントシートの活用 ・「ふれあいの社」や洛風・洛友中学校等、不登校を経験した子どもの学びと育ちを支える活動の展開 	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市いじめの防止等取組指針」の推進 ・「京都市子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」を年1回（令和元年11月）実施 ・顕の新たな動向も踏まえ、一人一人の不登校児童生徒に応じた適切な支援のために作成された登校支援ハンドブックを活用し、校内研修や不登校の未然防止等、各校における登校支援の充実に向けた取組を実施。 ・SNSを活用した相談窓口の対象を中学生・高校生（30年度は高校生のみ）へと拡大し、「京（みやこ）I・N・E相談」として夏季・冬季休業明けの期間限定の相談窓口として実施。 ・スクールカウンセラーの週1日8時間以上配置校を計130校（30年度は129校）に拡充 ・スクールソーシャルワーカーの配置校を全中学校区に拡大。（配置校数：76校（30年度：51校）） ・小中学校各校でクラスマネジメントシートを実施 ・洛友中学校の夜間部で、不登校等の事情で実質的に義務教育を十分に受けることのできないまま中学校を卒業した者（形式卒業生）を受け入れ ・「ふれあいの社」、洛風・洛友中学校における教育活動の実施 		生徒指導課 教育相談センター
	14	学校・地域・保護者・関係機関等との連携による薬物乱用防止教育の徹底や、ケータイ・スマートフォン、携帯ゲーム機等、携帯情報通信機器の不適切利用防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高等学校全校における薬物乱用防止教室、薬物乱用防止にかかるとの教職員研修の充実 ・青少年健全育成団体と学校・地域・家庭が連携した薬物乱用防止のための研修会や啓発活動の実施 ・「薬物乱用防止教育スタンダード」の作成 ・児童向けスマホ学習「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあい方」の充実 ・携帯情報事業者との連携による「ケータイ教室」の実施 ・京都市情報モラル市民インストラクターによる保護者向け啓発講座の実施 ・「学校非公式サイト等のネット監視システム」の実施 	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話事業者との連携による「ケータイ教室」を実施（150校） ・「学校非公式サイト等のネット監視システム」を実施 ・児童向けスマホ学習「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあい方」（携帯情報通信機器に関する学習・啓発プログラム）」の実施（84校 8142人） ・京都市情報モラル市民インストラクターによる保護者向け啓発講座の実施（53回1605人） ・小・中・小中・高等学校全校における薬物乱用防止教室の実施及び薬物乱用防止に係る教職員研修の実施 ・小学校・小中学校（前期課程）保護者用啓発読本「薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』子供たちを薬物乱用から守るために」の配布（12月） ・「高校卒業予定者のみなさんへ薬物のこと大府のことと誤解していると危険です！」の配布（12月） ・「高校生と考える薬物乱用防止シボジウムin京都」を開催（10月） 		生徒指導課 体育健康教育部 生涯学習部
15	「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた食育・健康教育、体力向上の取組・運動部活動の充実、安全・防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スチームコンベクションオープン（3ヶ年目／5ヶ年計画）による小学校給食の献立の多様化 ・給食予約管理システムの導入などによる選択制中学校給食の利便性向上 ・「京都市立小学校における食物アレルギー対応の手引」に基づく食物アレルギー対策の推進 ・「京都市通学路交通安全プログラム」に基づく関係機関が連携した通学路の安全確保の取組 ・水泳指導をはじめの教育活動における安全対策の徹底 ・「ジャンプアッププロジェクト」をはじめ子どもの体力向上を目指した取組の実施 ・中・高等学校の運動部活動における外部コーチ派遣事業及び部活動指導員の積極的な活用 ・自転車交通安全教育の充実 	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・スチームコンベクションオープン（5年計画・3年目）を進め、新たに30校にスチームコンベクションオープンを設置 ・給食予約管理システムを、令和2年度当初から本格実施できるよう、令和2年2月分給食から施行実施により導入し、保護者の利便性向上とともに学校の働き改革を推進 ・「京都市立小学校における食物アレルギー対応の手引」に基づく食物アレルギー対策を推進 ・水泳指導を始め教育活動における安全対策の徹底 ・「ジャンプアッププロジェクト」における子どもの体力向上を目指した取り組みの充実 ・外部コーチの派遣…中学校（53校・延べ87名）、高等学校（6校・29名） ・部活動指導員の派遣…中学校（53校・延べ87名）、高等学校（6校・12名） 		体育健康教育部	

基本方針・重点方針	令和元年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
障害のある子どもへの教育の推進	16 就学前からの切れ目のない支援や総合支援学校における職業教育の充実、発達障害のある子どもへの学習支援の充実等、障害者差別解消法を踏まえた施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> きめ細かな就学相談の実施 全就学前施設での「就学支援シート」事業の推進 県竹総合支援学校再整備等の総合支援学校児童生徒数増への対応 地域・企業等との連携による職業教育の推進 総合支援学校生徒の習得先企業数の拡大 LD等発達障害児教室で指導を受けている児童生徒数の拡大 手話に関する理解促進 高等学校における通級による指導の充実をはじめLD等支援の必要な生徒への指導・支援の充実 障害者芸術・障害者スポーツ等の障害者の生涯学習の推進 ICT機器等を活用した病児療養中の児童生徒の教育の充実 学校における医療的ケア実施体制の充実 	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 京都市就学支援委員会審議件数（30年度：2,377件、令和元年度：2,421件） 「就学支援シート」提出数（30年度：1,196枚、令和元年度：1,213枚） 県竹総合支援学校の再整備に向け設計等を実施。 東山総合支援学校を中心とした、地域・企業等との連携による新たな職業教育の推進 総合支援学校生徒の習得先企業数（30年度：323社、令和元年度：339社【連絡値】） LD等発達障害児教室で指導を受けている児童生徒数（対象：30年度：1,002名、令和元年度1,217名） 手話条例の策定や、身近に使える手話等を紹介した児童・生徒向けのリーフレットを小学4年生及び新規採用教職員に対して配布。 西京高等学校定時制において、通級による指導を開始するとともに、その他の学校においても、「高校通級特別支援チーム」が、巡回相談・指導を実施し、高等学校における総合育成支援教育を充実。 NPO法人障害者芸術推進研究機構（天才アートKYOTO）と協働し、総合支援学校に専門家を派遣し、創作アート活動を推進。 病室や自宅と分教室や原籍校をICT機器で繋いでの学習の実施（令和元年度：小学校77名、中学校54名、高等学校5名） 学校における医療的ケアのために地域制の総合支援学校4校に2.5名、小学校6校に8名の看護師を配置。市立学校版の医療的ケア実施マニュアル（試案）や事例集の作成等、実施体制整備を推進。 		総合育成支援課
魅力あふれる市立高校づくり	17 進路希望の実現を目指す特色ある高校づくり、「新しい定時単独高校」や「新しい普通科系高校」の創設に向けた取組、鋼鉄美術工芸高校の移転整備など市立高校改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各市立高校における魅力あふれる教育の推進 「新しい定時単独高校」創設に向けた施設整備（校舎棟建築工事着手）、教育内容の検討 「新しい普通科系高校」創設に向けた基本設計・実施設計の策定、教育内容の検討 鋼鉄美術工芸高校の移転整備に向けた実施設計の策定 	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 各市立高校における魅力あふれる教育の推進 京都市と高校創設に向けた施設整備（新校舎棟建築工事着手）、教育内容の検討 「新しい普通科系高校」創設に向けた基本設計・実施設計の策定、教育内容の検討 鋼鉄美術工芸高校の移転整備に向けた実施設計の策定 		学校指導課
子育て支援の充実	18 子ども若者はぐくみ局と協働し、子育て環境の一層の充実に向けた市立幼稚園での預かり保育の充実、就学前施設と小学校との更なる連携の推進、虐待の早期発見・早期対応	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園全園で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育の充実 先進的な教育実践成果の私立幼稚園を含めた全市への発信など、はぐくみ局との連携による幼児教育・保育の質の向上、量の拡大 「親支援プログラム」の実施 児童相談所への速やかな通告、情報提供等、児童虐待の早期発見、早期対応の推進 	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園全園で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育の充実 先進的な教育実践成果の私立幼稚園を含めた全市への発信など、はぐくみ局との連携による幼児教育・保育の質の向上、量の拡大 「親支援プログラム」の実施（はぐくみ所管） 児童相談所への速やかな通告、情報提供等、児童虐待の早期発見、早期対応の推進 		学校指導課 生徒指導課 生涯学習部
子どもたちがいきいきと学べる安心安全で特色ある教育環境整備	19 環境と防災に配慮した学校施設・施設整備事業の計画的な推進	<ul style="list-style-type: none"> 体育館リニューアル事業：工事実施（3校）、設計の実施（5校） 体育館改築事業：工事実施（1校）、設計の実施（1校） フールリリニューアル事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校） 老朽化した校舎の全面的な長寿命化改修：6校の基本計画を策定（年3校から倍増） 学校施設マネジメントの推進：構造躯体の健全性調査を実施 危険ブロック塀の改修（7校園） 	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 体育館リニューアル事業：工事実施（3校）、設計の実施（5校） 体育館改築事業：工事実施（1校）、設計の実施（1校） フールリリニューアル事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校） 老朽化した校舎の全面的な長寿命化改修：設計の実施（3校）、基本計画を策定（6校）※年3校から倍増 学校施設マネジメントの推進：構造躯体の健全性調査を実施 危険ブロック塀の改修（7校園） 		教育環境整備室
	20 学校図書館のリニューアル、学校トイレの洋式化等、学校施設の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内産木材を活用した学校図書館の環境整備（44校） 快進トイレの整備（21校） 洋式トイレの整備（1校） 	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 市内産木材を活用した学校図書館の環境整備（50校） 快進トイレの整備（21校） 洋式トイレの整備（1校） 		教育環境整備室 学校指導課
生涯学習の推進	21 市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の構築と市立図書館の更なる利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ポータルサイトのコンテンツの充実 府立図書館との返却資料お預かりサービスの本格実施 4中央図書館での、7・8月の土曜日の開館時間延長（午後7時まで）の本格実施 コミュニティプラザ深草図書館とのシステム統合による貸出カード共通化など更なる利便性の向上 	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ポータルサイトのコンテンツの充実（施設・団体情報アップデート、SNSを活用した情報発信等） 府立図書館との返却資料お預かりサービスの本格実施 4中央図書館での、7・8月の土曜日の開館時間延長（午後7時まで）の本格実施 コミュニティプラザ深草図書館とのシステム統合による貸出カード共通化など更なる利便性の向上 		生涯学習部 生涯学習総合センター 各図書館
	22 日本初開催となる「国際博物館会議（ICOM）京都大会2019」の成功に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 大会期間中の、京都推進委員会が実施する地元主催イベントの開催 大会開催の機運を盛り上げる市民等対象の大会開催記念イベントの実施 	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ICOM京都大会期間中の、京都推進委員会が実施した地元主催イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> 1) 開会パーティー（国立京都国際会館）（2,000名以上参加） 2) 二条城ソーシャル・イベント（3,853名参加） 3) 岡崎エリアソーシャル・イベント（延べ1,766名参加） 4) エクスカーション（市内24コース実施） 5) 博物館子どもフォーラム（京都国立博物館）（100名以上観覧） ICOM京都大会開催記念イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> 1) ミュージアム・プレミアイベント 2) 大河ドラマ「いだてん」トークツアー 3) 超・興次元開帳 		生涯学習部
23 文化庁の京都への全面的な移転を控え、また番組小学校創設150周年を契機とした京都の教育の歴史と文化力、地域力の一層の発信	<ul style="list-style-type: none"> 番組小学校創設150周年記念イベントの実施、情報発信の充実・強化 中学校総合文化祭における美術・新聞・社会等の各部門での番組小学校創設150周年に関連づけた調べ学習や創作・創造活動の実施 鋼鉄美術工芸高校所蔵作品展の開催 	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 番組小学校創設150周年記念イベント等の実施、情報発信の充実・強化（番組小学校創設150周年記念特別展「番組小学校の軌跡—京都の復興と教育・学区—」の開催及び図録の発行、特別展「国宝・旧開智学校校舎の学校資料」の開催、特別展関連講演会等の開催、番組小学校創設150周年記念式典及び記念講演会の開催など） 中学校総合文化祭における美術・新聞・社会等の各部門での番組小学校創設150周年に関連づけた調べ学習や創作・創造活動の実施 鋼鉄美術工芸高校所蔵作品展の実施 		学校指導課 生涯学習部 学校歴史博物館	